

[博士論文審査要旨]

申請者：石田 円

論文題目 病院における経営情報マネジメントに関する研究

審査員 荒井 耕
挽 文子
青木 康晴

本論文は、病院経営の持続可能性に寄与することを目的に、病院における経営情報マネジメントの実態を明らかにしようとした研究である。病院は、昨今、著しい外部及び内部環境の変化にさらされており、その変化に対応するための経営意思決定とそれに資する経営情報が強く求められているが、これまで病院では「経営情報」とは何かの共通認識も十分になく、またその形成と利用に関する実態も体系的には明らかにされてこなかった。こうした問題意識の下、本論文では先行研究のレビューから病院の経営情報とは何かを明確にした上で、その形成と利用に関する詳細な実態を、インタビュー調査及び質問票調査に基づいて、定性的及び定量的に明らかにしている。

本論文の貢献は、以下の諸点を明らかにしたことである。

まず、有用な経営情報の形成と利用を行うためには経営情報に影響を与える「病院固有の条件」に応じた経営情報マネジメントが必要であることを、体系的に明らかにしたことは高く評価できる。具体的には、組織規模と病床種類、それらの影響を受ける構造（組織体制、人材スキル、情報システム）に応じた経営情報マネジメントが重要である点を明らかにしており、実務への示唆も期待される。また病院で情報マネジメントが行われるためには、まず情報利用者である経営者が各種情報単体とそれらの組合せによる情報価値を見出す必要があることを明らかにした点も重要な貢献である。

ただし、この研究にも問題点がないわけではない。まず、病院の「経営情報」の概念・想定限界や、病院界における調査対象病院の代表性に関する限界がある。また経営情報マネジメントが病院の財務や医療の質に与えている影響の解明や、情報の価値とコストの対応関係（費用対効果）の解明までは、なされていない。もっとも、これらの問題点は申請者の今後の研究で克服されていくべき問題であり、本研究の価値を損なうものではない。

よって、審査員一同は、所定の試験結果をあわせ考慮して、本論文の筆者が一橋大学学位規則第5条第1項の規定により一橋大学博士（商学）の学位を受けるに値するものと判断する。